

「大井川用水地区」

関東農政局

平成20年6月5日

農林水産省

再評価説明参考資料

国営かんがい排水事業 大井川用水地区

関東農政局

目 次

1. 事業の進捗状況	1
(1) 国営事業	1
(2) 関連事業	1
2. 受益面積の変動	2
3. 主要工事の変動	2
4. 総事業費の変動	3
5. 事業コスト縮減に向けた取組	3
6. 費用対効果分析の結果	4
7. 環境との調和に対する取組	5
8. 事業工期	5
9. 農業情勢等調書	6
10. 事業概要図	42

1. 事業の進捗状況

(1) 国営事業

総事業費(百万円)		
総事業費	H20まで	進捗率(%)
56,500	36,405	64.4

(2) 関連事業

事業種別	地区数	総事業費 (百万円)	H20まで (百万円)	進捗率 (%)	備考
県営かんがい排水事業(一般)	1 地区	200	0	0.0	
県営かんがい排水事業 (農業水利施設緊急更新整備事業)	1 地区	50	50	100.0	
県営かんがい排水事業 (県営基幹水利施設ストックマネジメント事業)	8 地区	2,590	79	3.1	
県営かんがい排水事業 (県営新農業水利システム保全整備事業)	2 地区	1,205	626	52.0	
県営畑地帯総合整備事業	3 地区	2,260	1,518	67.2	
農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金事業 (団体営かんがい排水事業)	4 地区	450	0	0.0	
計	19 地区	6,755	2,273	33.6	

注1: 予定地区の総事業費は見込み

注2: 総事業費及びH20までは当該事業の全体事業費

2. 受益面積の変動

(1) 計画の対比

(単位: ha)

区分	変更計画	増減	増減率 (%)	備考
田	6,861	6,861	—	
畑	589	589	—	
計	7,450	7,450	—	

3. 主要工事の変動

区分	施設名	変更計画	増減	増減率(%)	増減理由
取水工	川口取水工	1箇所	—	—	—
頭首工	栃山頭首工	1箇所	—	—	—
	菊川頭首工	1箇所	—	—	—
幹線水路	大井川幹線水路	0.0 km	—	—	—
	大井川左岸幹線水路	0.3 km	—	—	—
	赤松幹線水路	1.5 km	—	—	—
	向谷幹線水路	7.3 km	—	—	—
	志太榛幹線水路	0.8 km	—	—	—
	志太幹線水路	2.2 km	—	—	—
	榛原幹線水路	1.0 km	—	—	—
	小笠幹線水路	4.3 km	—	—	—
	菊川幹線水路	1.9 km	—	—	—
	菊川右岸幹線水路	3.8 km	—	—	—
	菊川左岸幹線水路	3.2 km	—	—	—
	掛川幹線水路	3.5 km	—	—	—
	小計	29.8 km			
末端用水路	瀬戸川導水幹線水路他26路線	74.2 km	—	—	—
水管理施設	親局(中央局)	1箇所	—	—	—
	支局(右岸支局)	1箇所	—	—	—
	子局	34箇所	—	—	—
	孫局	6箇所	—	—	—

4. 総事業費の変動

(1) 計画の対比

(単位:百万円)

変更計画	増減額	備考
56,500	—	

(2) 増減の内訳 該当無し

項目	増減額	増減率(%)	増減理由
自然増			
事業量変更			
工法変更			
小計			
合計			

5. 事業コスト縮減に向けた取組(平成12年度～平成20年度)

年度	全体工事費(A)(百万円)	縮減額(B)(百万円)	縮減率(B/(A+B))	主な内容
平成12年度	199	24	10.8%	水路基礎において砕石から再生砕石とした。
平成13年度	1,001	113	10.1%	工事施工方法について再検討を実施し安価な工事施工とした。
平成14年度	1,521	322	17.5%	高強度の材料を使用して橋脚の規模を小さくして、コストの縮減を図った。
平成15年度	2,660	300	10.1%	底泥の固化材処理を行い、護岸補強及び仮設道路の路体に利用した。
平成16年度	778	21	2.6%	開渠を暗渠に変更した場合のカルバート構造の比較設計を実施した。
平成17年度	3,858	554	12.6%	県道拡幅整備工事と連携した工事を実施した。
平成18年度	2,428	603	19.9%	浅埋設工法を採用することによりコスト縮減を図った。
平成19年度	4,471	854	16.0%	改修工法の見直しによりコスト縮減を図った。
平成20年度	3,647	431	10.6%	計画手法の見直しによりコスト縮減を図った。
計	20,563	3,222	13.5%	

今後とも、幹線水路及び末端水路工事による工法の検討、再生資源の活用等によりコスト縮減及び工事期間の短縮を図る。

6. 費用対効果分析の結果

(1)総事業費

65,758百万円

うち 国営事業費 56,546百万円
 関連事業費 9,212百万円

(2)総費用総便益額の算定

① 年総効果額

(平成20年度:百万円)

効果項目	年総効果額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果	4,776	事業ありせば・なかりせばにおける作物生産効果、営農経費節減効果維持管理節減効果の増減
農村の振興に関する効果	1	事業ありせば・なかりせばにおける地域用水効果の増減
多目的機能の発揮に関する効果	159	事業ありせば・なかりせばにおける景観・環境保全効果の増減
計	4,792	

② 総費用・総便益額 (評価期間56年、割引率4%)

総費用 = **101,567** 百万円 (当該事業費56,546+その他費用45,021)

総便益額 = **142,089** 百万円

(3)総費用総便益比の算定

$$\begin{aligned} \text{総費用総便益比} &= \frac{\text{総便益額}}{\text{総費用}} = \frac{142,089 \text{ 百万円}}{101,567 \text{ 百万円}} \\ &= \boxed{1.39} \geq 1.00 \end{aligned}$$

7. 環境との調和への配慮に対する取組

(1)環境配慮の取組内容

本地域の環境は、牧之原台地を隔てた西側と東側で大別される。
西側の大井川右岸地域の特徴は、古くから多くのため池が造られ、里山～ため池～水田といった多様な環境を形成しており、農業用水が農業生産のみならず、地域住民に豊かな水辺環境を提供するとともに、多様な生態系の維持に貢献していることが挙げられる。
東側の大井川左岸地域の特徴は、旧東海道の島田宿や川越遺跡などの歴史・文化が多く残る地域であり、農業用水が防火用水や親水といった地域用水機能を有するとともに、地区内河川の水質改善に貢献しているなど、従来から地域住民の暮らしに根付いたものとなっていることが挙げられる。
事業の実施に当たっては、これら現状に配慮した取組を行うこととしており、主な事例としては①頭首工、②調整池、③用水路である。

①頭首工に関する取組事例

- 析山頭首工は市街地に位置し、住居区域に接しており人の往来が多く、大谷津川沿線にある桜並木が地域住民の憩いの場となっている。
 - ◇魚道新設による魚類への配慮
 - ◇「桜を守る会」と調整しながら桜の伐採、幼木の植栽等を行い、工事完了後は地域と一体となって桜による景観保全を維持

②調整池に関する取組事例

- 生物の生息環境保全に努めるため、大胡桃調整池の水辺と背後山地の連続性を確保した。
 - ◇ため池の湛水状況と背後地の状況を確認しながら、①湿地帯の創設、②横断排水溝により移動経路を確保

③用水路に関する取組事例

- 向谷幹線用水路では、歴史文化景観等を保全するため、周辺景観との調和に配慮した水路整備計画とした。
 - ◇「河原町周辺整備計画」を計画した島田市と調整した結果、車及び人が行き交うスペースが必要なこと、また、現況水路は景観と合わないことから、幹線水路を暗きょ化し、支線水路のみ開水路に決定
 - ◇支線水路は石張りでせせらぎ風に島田市が施工

8. 事業工期

	変更計画
着工	平成 11 年
完了	平成 26 年

平成20年度 国営土地改良事業再評価

「かんがい排水事業地区」

基 礎 資 料

(9. 農業情勢等調書)

関東農政局

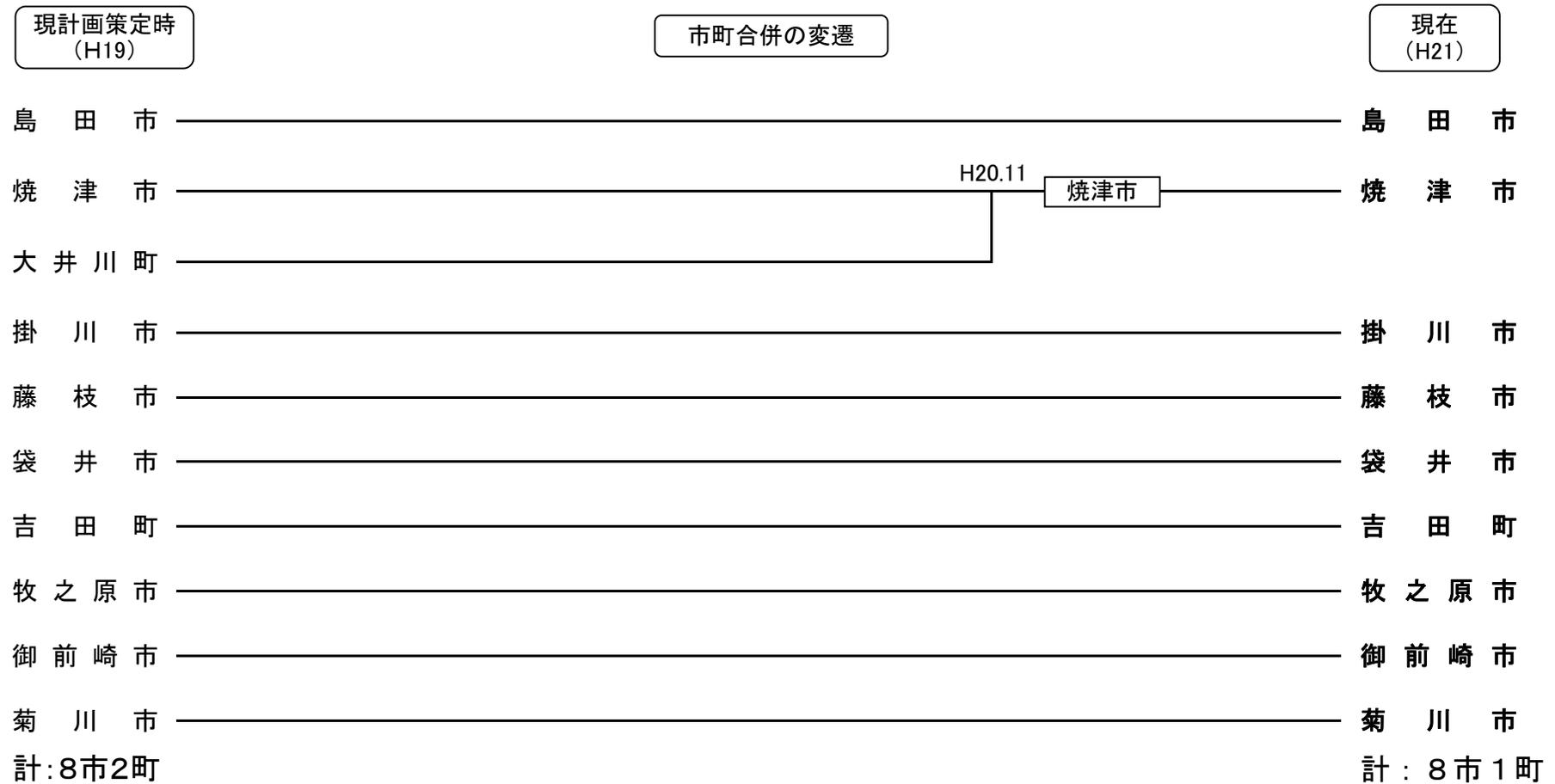
目 次

1. 社会経済情勢の変化	8
(1) 関係する市町村の合併促進状況	8
(2) 産業別就業人口の動向	9
(3) 地域経済の動向	10
(4) 農業の動向	11
(5) 経営耕地面積規模別農家数及び専兼業別農家数	12
2. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化	13
(1) 営農計画	13
(2) 農業振興計画等の見直し状況(県、関係市町村)	14
(3) 農産物等の動向	36
(ア) 作付面積	36
(イ) 農産物価格等	38
(ウ) 単位当たり収量	40

〔様式4 農業情勢等調書〕

1. 社会経済情勢の変化

(1) 関係する市町の合併促進状況(平成21年度時点)



(2) 産業別就業人口の動向

大井川用水地区

項目		総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱供給水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務	その他	備考
市町村名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
A (平成17年度現在)	島田市	52,022	4,135	30	15	101	4,522	15,595	242	2,795	9,506	999	237	6,617	1,326	5,902	
	焼津市	63,003	1,455	-	460	14	5,137	18,001	269	4,635	14,250	1,460	489	8,507	1,478	6,848	
	掛川市	65,814	6,145	12	19	13	4,900	22,338	351	3,305	10,846	1,005	259	8,283	1,345	6,993	
	藤枝市	67,876	2,906	4	37	14	5,824	17,085	355	4,195	14,638	1,760	504	9,241	2,015	18,539	
	袋井市	45,467	3,004	2	21	6	3,041	15,914	91	3,143	8,131	681	254	5,635	909	4,635	
	御前崎市	19,984	2,254	-	307	14	2,324	5,805	437	798	3,459	226	45	1,960	469	1,886	
	菊川市	27,226	3,645	1	3	14	1,650	9,616	139	1,143	3,756	339	89	3,043	657	3,131	
	大井川町	12,530	709	-	75	15	1,086	4,047	32	1,182	2,025	219	44	1,383	512	1,201	
	榛原町	14,513	2,363	-	25	25	1,044	4,573	31	614	2,237	153	55	1,577	261	1,555	
	吉田町	15,890	496	1	249	7	1,240	6,453	51	1,061	2,577	185	66	1,805	278	1,421	
	計	384,325	27,112	50	1,211	223	30,768	119,427	1,998	22,871	71,425	7,027	2,042	48,051	9,250	52,111	
	比率(%)	100	7	0	0	0	8	30	1	6	18	2	1	12	2	13	
	B	計	365,046	27,981	72	1,135	311	32,572	120,975	2,271	21,153	67,106	7,876	1,665	72,276	8,771	882
比率(%)		100	8	0	0	0	9	33	1	6	18	2	0	20	2	0	
C	計	401,551	30,779	79	1,249	342	35,829	133,073	2,498	23,268	73,817	8,664	1,832	79,504	9,648	970	平成7年度
	比率(%)	100	8	0	0	0	9	33	1	6	18	2	0	20	2	0	

(注) 菊川市は市町村合併につき旧小笠を含む

出展: 静岡県農林水産統計年報

(3) 地域経済の動向

(単位：百万円)

区 分	年 度	現計画の直近 5ヶ年の平均 又は直近年	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
	金額							
農 業 産出額	金額	9,190	9,190	9,423	9,568	9,179	8,591	農業産出額の概ねを占める野菜は天候による価格の変動により影響され増減している。
	指数	100.0	100.0	102.5	104.1	99.9	93.5	
製造品 出荷額	金額	4,266,756	4,031,164	4,124,213	4,336,585	4,371,796	4,470,022	製造品出荷額は年々増加傾向にあるが、大きな変動はない。
	指数	100.0	94.5	96.7	101.6	102.5	104.8	
商 品 販売額	金額	1,490,344	1,478,499	-	1,502,189	-	-	商品販売額に大きな変動はない。
	指数	100.0	99.2	0.0	100.8	0.0	0.0	

資料) 農業産出額：静岡農林水産統計年報H14～H18

製造品出荷額：静岡県工業統計調査報告書H14～H18

商品販売額：静岡県商業統計調査報告書H14、H16 (H15, 17, 18データは不明)

注 袋井市は市町村合併につき旧浅 町を含む 牧之原市は市町村合併につき旧 良町を含む
御前崎市は市町村合併につき旧御前崎町を含む

参考：平成14年度、18年度 大井川用水地区農業産出額の内訳 (単位：産出額 百万円、比率 %)

		米	麦・雑穀 ・豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸 作物	種苗・木 その他	畜産	加工 農産物	合計
H14	産出額	1,061	52	114	2,116	196	536	2,908	143	1,013	1,051	9,190
	比率	11.6	0.4	0.6	22.4	2.3	6.0	32.2	1.5	11.3	11.7	100.0
H18	産出額	914	20	73	1,984	231	527	2,568	135	1,055	1,084	8,591
	比率	10.6	0.2	0.8	23.1	2.7	6.1	29.9	1.6	12.3	12.7	100.0

(4) 農業の動向

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	86	72	耕地	92	84	水稻	84	82	乳用牛	68	63	動力農用 トラクター(30PS 未満)	91	82	農業振興地域指定年月日 旧成田市 東金市 八街市 旧山武町 千葉市 佐倉市 富里市 野菜指定産地 冬春トマト S41年 島田市、焼津市、藤枝市 掛川市、旧浜岡町、菊川市 冬レタス S44年 島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市 吉田町、掛川市、旧浜岡町 菊川市、袋井市 春夏にんじん S62年 掛川市 秋冬だいこん S43年 牧之原市、吉田町 酪農肉用牛生産近代化指定：H12年 島田市、藤枝市、掛川市 御前崎市、菊川市、袋井市	A:平成17年 (2005年農林業センサス) B:平成12年 (2000年世界農林業センサス) C:平成7年 (1995年農業センサス)
	専業農家数	96	98	田	90	80	ばれいしょ	90	87	肉用牛	97	81	動力農用 トラクター(30PS 以上)	169	201		
	第一種兼業農家数	80	71	畑	97	88	トマト	93	96	豚	60	38	動力防除機	65	53		
	第二種兼業農家数	87	66	樹園地	93	88	レタス	94	96				動力田植機	84	66		
	農業従事者数	93	93				温室メロン	86	73				自脱型 コンバイン	97	100		
変 化 の 理 由	都市化の進展に伴う他産業への就業、農地の転用等により総農家数、兼業農家数は減少傾向にあるものの専業農家数は下げ止まっている。			耕地面積は、都市化の進展に伴う農地の転用等により減少している。			耕地面積や農家数の減少により主要作物の作付面積は、減少傾向にあるが、産地指定されているトマト、レタスは近年増加傾向にある。			都市化の進展に伴う畜産農家の減少により家畜頭数は、減少傾向にある。			ほ場整備の実施に伴い農機具の大型化が進み、30馬力以上のトラクターの数が大幅に増加している。				

(5) 経 耕地面積 別農家数及び専業別農家数

区分 市町名	農家数	経 耕地面積 別農家数 ()										1 当たり平均 農用地面積 ()						専業別農家数 ()			備考
		例外 定	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自 農家	田	畑	樹 園 地	計	地	計	専 業	兼業		
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	以上									第一種	第二種	
(平成17度)	島田市	1,320	364	434	224	128	132	38	-	0	0	0.4	0.2	0.9	1.5	-	1.5	224	413	683	A:平成17年 (2005年世界 農林業センサス)
	金谷町	724	132	194	130	78	129	58	3	0	0	0.3	0.1	1.3	1.6	-	1.6	131	296	297	
	焼津市	850	401	379	49	8	7	3	1	2	0	0.6	0.1	0.2	0.9	-	0.9	85	132	633	
	掛川市	1,903	520	632	268	153	206	105	14	5	0	0.6	0.1	0.9	1.6	-	1.6	357	585	961	
	大須賀町	296	118	68	29	21	21	23	11	5	0	1.6	0.4	1.5	3.5	-	3.5	65	123	108	
	大東町	787	298	292	107	41	27	13	6	3	0	0.6	0.4	0.5	1.5	-	1.5	139	236	412	
	藤枝市	1,699	511	745	210	109	93	28	2	1	0	0.5	0.1	0.7	1.3	-	1.3	258	411	1,030	
	袋井市	1,051	283	375	143	64	73	50	37	26	0	1.5	0.2	1.1	2.7	-	2.7	199	304	548	
	大井川町	615	280	252	51	12	7	5	7	1	0	0.7	0.1	0.2	1.0	-	1.0	70	66	479	
	吉田町	254	97	85	31	17	16	6	2	0	0	0.7	0.1	0.4	1.2	-	1.2	48	63	143	
	榛原町	1,084	167	258	184	138	224	102	9	2	0	0.5	0.2	1.3	2.0	-	2.0	213	441	430	
	浜岡町	1,052	387	363	137	66	56	24	15	4	0	0.8	0.4	0.7	1.9	-	1.9	214	328	510	
	菊川市	1,896	329	614	376	198	225	116	30	8	0	0.6	0.2	1.0	1.8	-	1.8	288	667	941	
	計	13,531	0	3,887	4,691	1,939	1,033	1,216	571	137	57	0	0.7	0.2	0.8	1.7	-	1.7	2,291	4,065	
比率(%)	100	0	29	35	14	8	9	4	1	0	0	41	12	47	100	0	100	17	30	53	
計	21,679	610	4,087	6,029	2,420	1,228	1,243	452	104	44	5,462	0.6	0.2	0.7	1.6	-	1.6	2,236	4,544	9,437	B:平成12年 (2000年世界 農林業センサス)
	比率(%)	100	3	19	28	11	6	6	2	0	0	25	36	10	41	100	0	100	10	21	
計	24,257	656	4,813	7,167	2,942	1,540	1,271	337	77	35	5,419	0.5	0.1	0.6	1.3	-	1.3	2,340	5,695	10,803	C:平成7年 (1995年世界 農林業センサス)
	比率(%)	100	3	20	30	12	6	5	1	0	0	22	42	11	47	100	0	100	10	23	

2. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

(1) 営農計画

	現計画 (H20年3)			再評価 (H21年3)			見 通 し 等
	現 況		作付率 (%)	計 画		作付率 (%)	
	作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (k /10a)		作付面積 (ha)	単位面積当り収量 (k /10a)		
田 地面積	6,587			6,587			<p>現計画の営農計画は、関係市町の農業振興地域整備計画及び地域水田農業ビジ 等を基に策定した。</p> <p>① 水 地区の大部分が水田であることから、くから地域営農の基幹作物となっている。主な 種はコ カ、あいちのかおり、カ かなである。 関係市町の地域水田農業ビジ 等 種振興計画で振興作物として位 けら ていることから、 水田の 作物として振興し生産量の安定と確保を図り現状を維持する。</p> <p>② 大 水田 作物として 団化による団地化が図ら 、 による高 な生産が行な ている。 水 +小 +大 の2年3作での ロクロー ー での 体 を進 、水田の高度利用をはかる。 トト 太 を中 として多 な 種の作付さ ている。地域の ま た気 を活かして年間を通 て ・出 が 能なさ供 ス 水田 作物として 期に さ 、水 の作付による 水した 場に作付することで、連作 が できる作 として くから定着している作物である。 関係市町の全てで「 ス」として 定産地となっていることから、今後も田 作の 作物とし て振興を図りさらなる増大を目 す。</p> <p>① ロ 岸の畑作物として が定着している。 に、 な気 を利用して なピ ール ウスによる が 能であり、主な 種はアールス イトである。 関係市町の振興計画では、大井川町で基 的な構 に、菊川市でも農振計画及び中 計画に 位 けら ておられる。</p> <p>② ロ ロ は、 な気 を生かし、 ス での が行な ている。 に スク ロ としての の地位を確 しており、市場の評価も高い作物である。 掛川市他5市町で振興作物として位 けら ていることから、今後も振興を図る。 ば いし ークイ 、 ジ が 地を主体に さ ている。 掛川市、袋井市他で振興作物として位 けら ており、今後も振興を図る。</p>
田 (作)							
水	4,584	521	73.0	4,584	516	73.0	
大	178	114	3.0	178	106	3.0	
かんし	77	1,983	1.0	77	1,961	1.0	
き うり	27	5,222		27	5,107		
ト ト	130	6,675	2.0	130	6,630	2.0	
いち	146	3,595	2.0	146	3,638	2.0	
	89	2,166	1.0	89	2,175	1.0	
さといも	59	1,394	1.0	59	1,412	1.0	
ル	404	6,129	6.0	404	6,067	6.0	
工 り	144		2.0	144		2.0	
工	94	521	2.0	94	516	2.0	
トルコ ウ	112	35,000	2.0	112	35,000	2.0	
調整水田	67		1.0	67		1.0	
自 保全管理	224		4.0	224		4.0	
小 計	6,335		100.0	6,335		100.0	
田(作)							
小	274	242	22.0	274	230	22.0	
いこん	70	5,422	6.0	70	5,347	6.0	
にん ん	34	3,594	3.0	34	3,455	3.0	
ス	817	2,482	67.0	817	2,464	67.0	
たま	22	2,595	2.0	22	2,704	2.0	
小 計	1,217		100	1,217		100	
田 計	7,551			7,551			
畑 地面	589			589			
畑(
大	22	114	4	22	106	4.0	
かんし	36	1,983	6	36	1,961	6.0	
いち	56	3,595	10	56	3,638	10.0	
ロ	163	2,731	28	163	2,733	28.0	
ロ	91	3,048	15	91	2,997	15.0	
	31	2,166	5	31	2,175	5.0	
ば いし	85	1,952	14	85	1,740	14.0	
きく	32	35,000	5	32	34,000	5.0	
ル	74	6,129	13	74	6,067	13.0	
小 計	590		100	590		100	
畑(
いこん	31	5,422	37	31	5,347	37.0	
にん ん	9	3,594	11	9	3,455	11.0	
	27	3,247	33	27	3,302	33.0	
ト ト	16	6,675	19	16	6,630	19.0	
小 計	83		100	83		100	
畑 計	673			673			
合 計	8,224			8,224			

単収出展：静岡県農林水産統計年報

(2) 農業振興計画等の見直し状況(県)

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
静岡県地域水田農業ビジ	静岡県 地域水田農業ビジ (策定年度 平成16年度・平成19年度変更)	変更なし	
1.地域水田ビジ の実現	<p>平成18年7月、経営所 安定対策等実施要 が 定さ、新たな対策として「 目 的経営安定対策」 改 においては、「 新たな 給調整 ス 」に 行することが 定した。</p> <p>こらの施策は、こまでの 目 の施策から 定農業 等のい手に 化した政策への であり、 の水田農業経営が安定的に持 さる構造への 変 を進 るものである。</p> <p>静岡県では、産地間 の 化による 産地からの 売 勢、 費減 な の 価 向を受けて水田農業経営は しい状況にあり、今後の水 、 、大 の生産振興な 水田農業のあり方が ている。</p> <p>政策改 は21年度までであり、この ら た期間の中で 県が進む き水田農業の方向性を明確にすることが 要である</p>		
2. 点取組方	<p>水</p> <p>① 売を 点とした生産・ の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のばらつきをなくした高 生産地の 成 ・ 実 費 が期 する安定 に向けて、県内産の となっている のばらつきについては、引き きコ カ を対 に食 算による区分 を実施するとともに、新たに 場 ルでカ による 分析を実施し、 な の に よる産地 ルの ばらつきを改 する。 ・ 要に した生産・ ・ 売計画 ・ 要情報の的確な と生産 画 <p>② A の確 と安全・安 の取組み</p> <p>安定した水田農業経営体の 成</p> <p>価の な の で経営 が 要な時期に直面して いるた、国の水田経営所 安定対策 新たな 給調整 ス 等の関連施策の円 な 進と合 せ、関係機関の緊 な 関係のもとに地域の となる経営体を 急に 成し、地域全体の 水田農業の新たな 組み くりを構 する。</p> <p>水田の高度利用として、 後の新たな作物として の作付導 等を実 する。</p> <p>水田農業構造改 の 進</p> <p>新たな 給調整 ス の円 な 進と産地 くり対策を活用 して、大 の新たな産地 成に積 的に取組むとともに、 水田農業ビジ で位 けさ た い手に対し、的確な情報 供 ー に対する 導を実施する。</p>		
3.新 給調整 ス 定着の 方	<p>① 大幅な 成に対する 成</p> <p>県は、 の 費県であり、 要に た くりを 進する観 点から、大幅な 成に対する 成は行 ない。</p>		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
	<p>② 地域振興作物の振興に対する 成</p> <p>ア、作物 定</p> <p>定着 進作物は の11 目とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (小、大、大) ・ 大 (大) ・ 発 料用 ・ そば ・ パ (生食) ・ ・ スイートコー ・ トイ ・ ス <p>イ、新規導 作物</p> <p>新規導 作物は の5 目とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大 (成 及び子実) ・ ・ ・ 料用 <p>その他 的な生産調整の取組みに対する 成</p> <p>地域の 性を生かした多 水田利用 作物生産を 進する</p> <p>観点から、地域水田農業ビジ に基 き実施さる ル</p> <p>一資源作物としての 種の 等での農業体 に活用</p> <p>する まり、 水田の にかかる作物作付 新規</p> <p>生産調整参 の作物作付に対し 成する。</p>	<p>変更なし</p>	

(2) 農業振興計画等の見直し状況（市町）

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
<p>島田市地域水田農業ビジ</p> <p>1.農業の 性</p> <p>2水田農業の現状</p>	<p>島田市 地域水田農業ビジ（島田市と金谷町はH17.5 合併） （策定年度 平成17年）</p> <p>1. 島田地区 島田地区の農業は、基幹作物である を中 に水 、カ 、施設 、 ス及び 産な が多 に営ま ている。 平成13年の地区の農家数は1588戸で、全 帯の6.5%を ているが、そのうち専業農家は209戸である。また、1,379戸の兼業農家のうち 種兼業農家が1,124戸で、今後この 向はさらに高くなる と予 さる。 また、農産物の輸 自由化をは 、カ の構造的な生産 の 費減 が農家経営を しており、基幹農業 事 の減 と高 化により耕作 地 農地が増 する 向にある。</p> <p>2. 金谷地区 金谷地区の農業は、 を中 に発展してきた。平成13年の農家数は877戸で全 帯の14%を ているが、専業農家は112戸と ない。 また、 東名高 道路用地及び 地化等に う耕地面積の減 農業 事 の高 化及び兼業化による の により、耕作 地 農地が増 の 向にある。</p> <p>1. 島田地区 ・生産調整の拡大に い、水 作付面積及び収 量は年 減し、平成14年の水 作付面積は463ha、10a当り収量は527k 、となっている。 ・平成12年から14年までの3 年の10a当り収量をみると、12年529k 、13年536k 、14年527k と比較的安定した収 量となっている。 ・作付 種は、 費 の を し カ 、 と 、コカ を中 として、あいのかおり、あさ の といった良食種の作付が増 している。 ・島田地区は、全国・県を する スの産地であり、その前作となる の作付も スにあ せた 種構成と作付が行な ている。</p> <p>2. 金谷地区 ・生産調整の拡大に い、水 作付面積及び収 量は年 減し、平成14年の水 作付面積は171ha、収 量は898 、10a当り収量は525k である。 ・水 農家は、 は水田維持を目的とした作付を行なう農家が大 を 、30a の農家が全体の80%を ている。 ・作付 種は、あいちのかおり、 カ を中 とした良食 種の作付が増 している。</p>	<p>変更なし</p>	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
3 の生産調整の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費 の強いコ カ、 カといった 種についての作付が なく、 の農家が大 を ている。 ・ の1人当り年間 費量が年 向にあるなか、 効な費対策の一つとして 工 の利用も今後 して 進する。 <p>1. 島田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産調整の取組は、調整水田 保全管理が多く、実 参 率が52.1%と県平 率53.9%より いが、全国平 の26.8%に比 ると高い数 を している。 ・ 作物作付は、 、大 、 料作物の一般作物の る比率が18.4%で県平 20.3%より い。 <p>また、地 施設 を中 に作付さ た水田に導 さ た作物は、 、大 、 、サトイ 、スイートコー 、 である</p> <p>2. 金谷地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産調整の取組は、保全管理 実 参 による対 が多く実 参 率66.2%と県平 5.9%より高い。 ・ 作物は、家 を含む が19.9%と多いが、大 等の一般作物は6.3%で全国平 の46.7%に比 ると い。 <p>また、基幹作物である に地目変更する農家が多い。</p>	変更なし	
4. 作物振興及び水田利用の方向	<p>①水田営農は、水田の 効利用と 動化を促進し、農地の 積を図るとともに い手の 成確保に る。また、地産地 の観点から 工 等地域の 性を活かした水 を中 とした農産物の生産を振興し、自給率の向 を図る。</p> <p>②農道 用排水路の整備等基 整備を図り、機 作業の効率化を高 、 化とコスト 減を図る。</p> <p>作物振興は、水田の生産所 の向 を目 し、産の ス、施設 (サイ、サ エ、 う んそう)、 の振興を図る。</p> <p>また、水田の 効利用、地 の増進、農地の環境 化から、コス ス、 まり、 の 、 バで農村景観の保全、市との あいの場の確保を 進する。</p>		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																								
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年9 改)	<p>農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (島田市)</p> <table border="1" data-bbox="423 368 813 571"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>632</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>130</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>サイ</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	632	630	ス	130	221	いち	5	6	サイ	3	3	き	12	15	料作物	1	13	変更なし	
作物名	現況(H19)	目 (H27)																									
	ha	ha																									
水	632	630																									
ス	130	221																									
いち	5	6																									
サイ	3	3																									
き	12	15																									
料作物	1	13																									
焼津市地域水田農業ビジ (平成19年12 大井川町と 合併) 1.農業の 性	<p>焼津市 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年) 大井川町 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年)</p> <p>1. 焼津地区 な気 と交通 な 地 に ま、平 では水 施設、地 を中 に、山間 では、みかんな 性 の高い農業が展開さ ている。 しかし、年水 みかんの構造的な生産 のなかで、費 の高い農業が展開さ ている。び み、農産物の価格 な 農業を取 く環境は しい状況にある。</p> <p>2. 大井川地区 な気 に ま、全域が平 な地 である。当地区の農業 は、大井川用水の安定供給により、水 を中 に多くの施設、 施設 な 性の高い農業が展開さ ている。 しかし、年は 費の び み、農産物の価格 な 農業を 取 く環境は に しい状況になっている。</p>																										

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
2. 水田農業の現状	<p>1. 焼津地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田面積の は、年の 地化、工業 等の 市的土地利用によるかい が進み、平成17年度は750haで、 5 年間で53ha減 している。 水田の基 整備状況は、 作を目的とした土地改良事業が和44年に完了し、その80%は1区画が5a である。水田の地は 川の に位し、岸 に いとこでは の を受け すい。 水 の生産は、平成17年で作付面積560ha、収 量2,970、10a当り収 量531k である。 作農家は、 確保 資産として水田維持を目的に作付をする農家が大 で、50a の経営耕地き が65%である。一方、 進的な経営体を目 す農家 収益性の高い作物と水 を組合 せた 合経営体を目 す大 農家がある。 <p>2. 大井川地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年の水 作付面積は463ha、生産量2,460、10a当り収 量531k で主要作物となっている。 の 通は、平成17年で農 出 12%、農家自らで 売 農家費等が88%で、 種別ではあいちのかおり、コ カ、あさ の の で出 量が多い。 水 農家は、 、また水田維持を目的とした作 付けを行なう農家が大 を ている。 また、水田営農組合 等の い手が主となって農地を 積し、収益性の高い施設 作物と水 を組合 せた水 経営となっている。 	変更なし	
3. 作物振興及び水田利用の方向	<p>1. 焼津地区</p> <ol style="list-style-type: none"> の生産量の大 はを自家 費する地域であるた 、作物振興は水 中 と、水 合経営に区分する。 い手の振興作物として、小 、 の とし、 の は景観 成作物とし、あるいはバイ ス資源として活用する。 <p>兼業農家の振興作物は、水 の 作物の作付が なことから、取組み すい 工用 とする。</p> <p>その他の振興作物として、地産地 の観点から、 給食 等を通 市 農業の確 を目 す。作物としては、大 、 料作物、 を 進し中でも地区の 産である菊、トトの生産拡大を図る。</p> <p>2. 大井川地区</p> <ol style="list-style-type: none"> の年間 費量が年 向にあるなか、 効な 費対策の1つとして 工 の利用も今後 する。 		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																																
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年8 改)	<p>②小 は、現行 おり土地利用 積 の作業体 の中で、作 業受 を計画的に行い、作付面積の拡大を現生産 を中 ばすとともに、コスト・高 安定生産 の確 をはかる の生産調整の対策として、大 、 料作物、 、たばこ、 年作物は今後も 進する。</p>	変更なし																																																	
(平成19年9 改)	<p>農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (焼津市)</p> <table border="1" data-bbox="421 469 813 699"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>551</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>う んそう</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>き うり</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ト ト</td> <td>9</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td></td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	551	550	う んそう	4	6	き うり	4	6	ト ト	9	20	いち	1	3	き		8	料作物		35																							
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																																	
	ha	ha																																																	
水	551	550																																																	
う んそう	4	6																																																	
き うり	4	6																																																	
ト ト	9	20																																																	
いち	1	3																																																	
き		8																																																	
料作物		35																																																	
(平成19年9 改)	<p>(大井川町)</p> <table border="1" data-bbox="421 748 813 1155"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>410</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>う んそう</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ルリー</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ロコ</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>たま</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ト ト</td> <td>15</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>さ ん う</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ま</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	410	400	う んそう	4	6	ルリー	2	2	ロコ	3	4	ス	1	1		12	18	たま	2	2	ウ	7	9	ト ト	15	18	さ ん う	1	3	ま	11	11	いち	6	7	き	7	8	料作物		4		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																																	
	ha	ha																																																	
水	410	400																																																	
う んそう	4	6																																																	
ルリー	2	2																																																	
ロコ	3	4																																																	
ス	1	1																																																	
	12	18																																																	
たま	2	2																																																	
ウ	7	9																																																	
ト ト	15	18																																																	
さ ん う	1	3																																																	
ま	11	11																																																	
いち	6	7																																																	
き	7	8																																																	
料作物		4																																																	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
掛川市地域水田農業ビジ (大 町と大東町は平成 17年4 掛川市と合併)	掛川市地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年) 大 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年) 大東地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年)	変更なし	
1.農業の 性	<p>1. 掛川地域 地域は、 な気 と市場・ 費地への交通の利便性等、生産活動にした にま ている。 農業は、 産作物である を中 に水 、 産、 作物・等の生産が行な ている。水田面積1,600haのうち水 が作付さ ているのは830ha、 りは 作物及び不作付である。 生産調整は、バ 対 で水田を利活用した水 の作物での 団化・土地 積の事 は とん ない。イ 、イ ジクをは とする 価 の高い 作物での産地 成の動きもみらるが、自家 費用の 生産と自 保安全管理が大 分を る。</p> <p>2. 大 地域 地域は、 な気 な 等の また自然環境と 岸 地土 の 地 を活かし、水 、 、 ロ 、 、石川小 等の 価 の高い多種多 な農産物が生産さ ている。 1経営体当りの耕作面積は、 和62年 から による 業化を 進した結果、水田の 動化団地化が進み増 向にある。</p> <p>3. 大東地域 地域は、全国に けて水田農業の 業化を進 、農業法人の に成 し、 自の地域農業を発展させてきた。 生産基 は 全域において整備が り、こ を利用して水、小 生産による土地利用 農業も確 さ ている。</p>		
2.水田農業の現状	<p>1. 掛川地域 水田面積は1,600haのうち水 の作付面積は 830haである。主要な 作物は、 と 、次いでク 、イ 等となっている。 は当地域の主要農産物であり、面積当りの生産額も水の 3 となっている。 イ は面積当りの生産額は大きい、施設導 にかかる経費が大きく、急 な生産の拡大は ないものの、後 新規 の開 、規模拡大が進んでいる。 とイ の をくと、収益性の い土地利用が大 分を ている。</p> <p>2. 大 地域 水田農業の活性化を図るには、 い手による経営体の体 強化を図るとともに、 的に な管理が行な るよう、土 くりが 要である。そのた には、 い手への 動化をは として、 等 管理体 の整備による「安全で安 な農産物」の供給、「売 る 種」の 定、団地化・機 化</p>		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
3.作物振興及び水田利用の方向	<p>による「コスト生産」、市内における通経路の確保等を農業、農業団体及び関係機関が一体となつて進める。 て、大井川用水、排水対策等の整備を進めることにより、大規模水田経営の実現を目指す。</p> <p>3. 大東地域 年の農業をとりまく情勢は、農産物の給不、価格の等然としてしい状況にあり、農業の高化・兼業化によるのこらにう農地の化がさる</p> <p>1. 掛川地域 ・ 場整備の実施された良水田については、水の作付を進める。水については売る作りを目し、機、減農減化料の導なを積的に進める。 点種をコカとし、他にカ、あさの、あいちのかおりの3種を点種とする。 ・水の効率的ながな地の水田については、畑地化を進し機導が能なの造成は地へのを進る。 ・に左右さ安定性・計画性をもって出が行なるウスによるイ、イジクのを進める。また、ウスによる、のも支援する。 ・振興作物として売る作り ・、イ、イジク、ウス・、大、トト、ク、 、料作物、</p> <p>2. 大東地域 ・水等はこれまで多種多なさてきたが、今後は費一の高いコカ、カ、あいちのかおりを進種として計画的な生産を行なう。 ・はこれまでおり実の要にるた、気変動にできるを行い、高小の生産にる。 ・大は実とのと平行して、これまで行なてきたな工の実を図り、路拡大する。</p> <p>3. 大東地域 ・水田における土地利用農業を活性化するため、法人、人への土地利用積、水田の用化を図る基整備を進めるとともに、の格的な定着・拡大定した作物の産地化を図る。 ・振興作物として、コカを中とする水等、小、大、 作物、 種、 等の景観作物とする。 ・全域において取組む作物を定し、コスト・高安定生産の確を図るとに、そら作物の産地化を進める。 また、り、調整水田、自保安全管理については、生産調整を成するたの手として活用していく。</p>	変更なし	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																										
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年2 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (掛川市)	変更なし																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>1,620</td> <td>1,610</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>164</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>かんし</td> <td>69</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>にん ん</td> <td>58</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>ト ト</td> <td>25</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>48</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>口</td> <td>46</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>すいか</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td>76</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	1,620	1,610	小	164	148	かんし	69	69	大	63	70	にん ん	58	48	ス	12	14	ト ト	25	22	いち	48	51	口	46	43	すいか	27	27	き	12	12	料作物	76	76		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																											
	ha	ha																																											
水	1,620	1,610																																											
小	164	148																																											
かんし	69	69																																											
大	63	70																																											
にん ん	58	48																																											
ス	12	14																																											
ト ト	25	22																																											
いち	48	51																																											
口	46	43																																											
すいか	27	27																																											
き	12	12																																											
料作物	76	76																																											

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
藤枝市地域水田農業ビジ	藤枝市 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年)	変更なし	
1. 農業の 性	<p>地域は、静岡県の 中央 に位 し、 地帯は 高300m 前後の山が に がり、この急 地の山 に 状の畑が造成 さ 、みかん、 が さ ている。さらに、 に がった平 は水田 地帯となっている。</p> <p>地域の 端を大井川が 、平 一体はこらの 川の 積 によってできた 積平 で、地 なた くから水 をは 、いち 、トト、き うり、 な 施設 が んで、用水は とん 川の 水によってまかな ている。</p> <p>水田農業の現状は、 市化の進展等により、総農家数が急 に 減 し、自給的農家が 増 している。また、農業 の高 化と耕作 地 農業の い手確保が大きな となっている。</p>		
2. 水田農業の現状	<p>地域の水田は、 の平 を中 に がっており、農家一戸 あたりの平 所 水田面積は45a 度で、気 排水不良、 場区画も小さいことから水田における 大 等の土地利用 作物については生産性、 面で す き が多い。</p>		
3. 作物振興及び水田利用の 方向	<p>水田における不作付地の を目 し、安定した水田農業の確 を図るた の対策に取組む。</p> <p>① 地域は、 農地の 及び生産調整の 進を目的に、 大 、の定着、拡大を図っていく。</p> <p>② 作物 会で検討さ た作物から 金性が高く、 作物 であるイ ジク、枝 に て、耕 環 農業を目 して 料 作物(りとうも こし、 ル 、イ ア イ ス)を積 的に 進する。</p> <p>売 る くりのた 、水 別 種統一による 種・収益向 を図る。静岡コ カ を中 に売 る くり及び作業効率・ 収益の向 を目 した 種統一を行なう。</p> <p>地域にまたがった農産物 について一 を目 し、合理 化を図っていく。また、市場 通 けに ら 、市場 通を目 し、農 直売施設 ー ー ト設 を検討する。</p> <p>不作付地の 、作物の統一化、作業効率を向 させるた 、 い手の 成を図る。に、 ー ー 藤枝については 法人が設 さ たことで、 3地域の水田保全を図り、農地の 利用 進と い手の組 化を 進する。</p>		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																	
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年9 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (藤枝市) <table border="1" data-bbox="423 341 813 624"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>731</td> <td>730</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>47</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>き ーり</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>なす</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>トト</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>みつば</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td></td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td></td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	731	730	ス	47	52		7	8	き ーり	6	8	なす	6	7	トト	6	7	みつば	1	1	き		13	料作物		80	変更なし	
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																		
	ha	ha																																		
水	731	730																																		
ス	47	52																																		
	7	8																																		
き ーり	6	8																																		
なす	6	7																																		
トト	6	7																																		
みつば	1	1																																		
き		13																																		
料作物		80																																		
袋井市地域水田農業ビジ (袋井市は平成17年4 浅 町と新設合併し袋井市に)	袋井市 地域水田農業ビジ (策定年度 平成17年度 ー 改 平成18年度)																																			
1. 農業の 性	地域は、県の 、中 地域の 中央に位 し、 から中 の 地帯と ば な気 と また市場 を活かすと ともに、農業 の な と 取りの気性で 積さ た生産 によって水 、 、大 等水田土地利用 農業と、 、 口 、 きな の 農業により、多種多 な ある農産物 を生産してきた。 しかし、年の農業を取 く 情勢は、農産物の 給不 、価 格の 等 然として しい状況にあり、農業 の高 化、農業 就業人口の減 な による の 、農村地域の活 の にともなう耕作 地の増大が さる。																																			
2 水田農業の現状	地域は、県内 数の水 地帯で、こ まで 作と 作が一 体となった大規模な水田営農を展開してきた。 袋井地域は、和42年度から30a区画を基 とした県営 場整備 事業を実施し、この結果大規模農家の 成にも し、また、用排 水を分 することにより、良 産地 くりを 進してきた。 ①水 は、新たな 政策大 の実施に い、作付面積及び取 量 は 動的であり、 種別の作付面積も な 向がみら 、平 成17年水 の作付面積は1,331haとなっている。																																			

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
3.作物振興及び水田利用の方向	<p>今後は 費 の を し、コ カ 、 カ といった良食 種 志向の高まりの中で、 要の増 が見込まれる新 な 、 要に見合った生産と の向 を目 し「売る くり」に る。</p> <p>②生産調整による 、大 、 料作物は、2年3作(水 +小 +大)を中 とした営農体 の確 によりのびてきたが、今後は 動的であると予 さる。</p> <p>また、 年収 量の減 及び の が さ 、併せて 対策の検討も 要である。</p> <p>水田における土地利用 農業を活性化するため、大規模農家への農地利用 積、さらには水田の 用化を図るた の基 整備を一 進するとともに、 、大 等の 格的生産の定着、拡大を図る。 作と 作が一体となった生産性の高い水田営農を確 する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要に た水 ・小 ・大 等の作付・ 売計画の策定 ・水 ・小 ・大 等の生産性向 に う コスト、高 生産 の確 ・小 を中 とした作物の団地化、大規模農家への利用 積 ・地域、生産 間の調整活動を主体に、農業団体が一体となつ たす維新体性を構 する <p>水田作物の振興及び作付計画は のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水 は、 費 の を し、コ カ を中 とした良食 種の作付を 進する。 また、食の安 、安全志向の高まりの中で、 要の増 が見込まれる新 等への対 は、 要に た生産 を確 する ・小 は、10a当り収量を安定し、水田における作付を定着する。作付 種は、農林61 及びイ イ イ を主体とするが、実 要に た 種の 定と である ク 含量の 化を図り、生産 の確 を図る。 ・大 の作付目 は平成22年で230haとする。10a当りの収量は240k を目 とし、水 +小 +大 の2年3 作 の 体 を進 、水田の高度利用を図る。 ・その他の振興作物は、 発 料用 (ールクロ プサイジ)の作付面積の拡大を図り、 料の生産利用を 及する 	変更なし	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																																															
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年6 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (袋井市)	変更なし																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>水</td><td>1,792</td><td>1,277</td></tr> <tr><td>小</td><td>584</td><td>515</td></tr> <tr><td>かんし</td><td>17</td><td>17</td></tr> <tr><td>大</td><td>191</td><td>191</td></tr> <tr><td>いこん</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>ば いし</td><td>19</td><td>12</td></tr> <tr><td>さといも</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>9</td></tr> <tr><td>ス</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>たま</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>き うり</td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr><td>なす</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>ト ト</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>さ ん う</td><td>8</td><td>6</td></tr> <tr><td>いち</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>口</td><td>135</td><td>130</td></tr> <tr><td>サイ</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>き</td><td>1</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	1,792	1,277	小	584	515	かんし	17	17	大	191	191	いこん	7	7	ば いし	19	12	さといも	3	3		9	9	ス	20	21		3	3	たま	2	2	き うり	7	6	なす	5	4	ト ト	8	8	さ ん う	8	6	いち	7	7	口	135	130	サイ	10	10	き	1	0		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																																																
	ha	ha																																																																
水	1,792	1,277																																																																
小	584	515																																																																
かんし	17	17																																																																
大	191	191																																																																
いこん	7	7																																																																
ば いし	19	12																																																																
さといも	3	3																																																																
	9	9																																																																
ス	20	21																																																																
	3	3																																																																
たま	2	2																																																																
き うり	7	6																																																																
なす	5	4																																																																
ト ト	8	8																																																																
さ ん う	8	6																																																																
いち	7	7																																																																
口	135	130																																																																
サイ	10	10																																																																
き	1	0																																																																

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
<p>御前崎地域水田農業ビジ</p> <p>(岡町は、平成16年4月に御前崎町と合併し御前崎市に)</p> <p>1. 農業の特性</p> <p>2. 水田農業の現状</p> <p>3. 作物振興及び水田利用の方向</p>	<p>御前崎市 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年度)</p> <p>地域は、静岡市と松市の中間の端に位置し、が岡地域で岸に面している。農業は、中央平野地帯では主に水田、稲作地帯では、水田、稲作地帯では、水田を利用した稲作、スイカ、かんし等の施設栽培のいち、トトが生産されている。地域内の農業生産額で、いち、稲、水田のとなつては、作物とも生産の高化が進んでおり、産地の維持生産減がされている。このため、地域全体でより一歩の効率的な土地利用を目指し、資本の減、農業規模の拡大にこころをかけた機材の効活用による高化等の中で、生産物の安定化、高化を目指す。</p> <p>地域内の水田面積のうち、場整備事業を含めた基整備済み整備率は60%となっている。平成17年度の水田農業の実績は、基整備が完了した水田では水田が89%、及び肥料作物4%、その他7%となっている。また、整備地区では比較的の整ったところでは水田が作付されているが、その他は稲不作付地となっている。水田農家の多くが兼業農家で、また高化の機材もあいまって小さな面積を耕作し、生産が主体となっている。今後は、農地の動化による場の積と規模拡大を進め、水田別、区画別に管理を統一化してコストの減を図る。また、水田による環境保全農業の取組みを進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場整備が実施された区域を中心に耕作の可能な水田は、その多くが利用設定により手が耕作している。また、稲作でものよい所は、いち、地帯等に、水田では家、施設に利用されている。 ・ 場整備済の水田を中心に水田作付区域と位置づけ、い手の水田規模拡大を図るため積・団地化をはかり。 ・ 水田作付区域の位置づけが出ない谷地田等については、今後の利用方法について検討を行なう。 <p>基幹作物である地帯へのについては、用採機の利用を前に計画し、いち、トト等の施設栽培については、稲作に注し、地帯、いち、ジク等の年作物の作付ができるよう検討する。</p>	<p>変更なし</p>	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																										
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年7 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (御前崎市)																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>307</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>かんし</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>いこん</td> <td>53</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>ト</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>38</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>口</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td>10</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	307	266	小	5	5	かんし	40	40	大	11	11	いこん	53	60	ス	7	11	ト	5	6	いち	38	53	口	21	21		8	20	き	23	22	料作物	10	39		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																											
	ha	ha																																											
水	307	266																																											
小	5	5																																											
かんし	40	40																																											
大	11	11																																											
いこん	53	60																																											
ス	7	11																																											
ト	5	6																																											
いち	38	53																																											
口	21	21																																											
	8	20																																											
き	23	22																																											
料作物	10	39																																											

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																													
<p>3. 作物振興及び水田利用の方向</p> <p>農業振興地域整備計画基礎資料 (平成19年3 改)</p>	<p>1. 菊川地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 水 は、平成12年 コ カ が カ を り、平成17年度にはコ カ 、 カ がうるち 全体の85%を るようになった。今後は、生産 と農業団体が一体となつて、要に た生産・ 売計画を策定し、コ カ を中 とした作付を 進する。 は、作業受 を含 大 作農家等が、内田、 地、小笠地域を中 に作付さ ている。 大 は、その多くが自家 費用の となつていて年 作付面積は減 向にある。 スは、水田 作として菊川地区で さ ている。 ス は 農家の 作として作付面積をのばしてきたが、年 は面積が減 している。今後、定 機等 機 の導 を進し、作付面積の拡大を図る。 <p>2. 小笠地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 水 は、 要に見合った作付面積の確保に農業団体及び関係機関が一体となつて る 要がある。 種構成については、農業 の により カ 、コ カ といった 種を中 に作付を 進する。 は、土地利用 作物として農要地の 効利用を図るた の主要な作物であり、また、 作営農を図る でも 要作物として位ける。大 は、高 大 の安定的な生産を 進する。 その他作物として、 作田を利用して、地産地 を拡大するた、地場産 直売所へ出 する の作付を 進する。 <p>農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (菊川市)</p>	変更なし																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>839</td> <td>836</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>97</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>かんし</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>大</td> <td>15</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>ば いし</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>55</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>き うり</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ト ト</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>ウス 口</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>口</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>10</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	839	836	小	97	115	かんし	7	7	大	15	25	ば いし	17	17	ス	55	98	き うり	5	6	ト ト	14	20	いち	8	14	ウス 口	24	24	口	16	16	き	10	16	料作物	0	50			
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																														
	ha	ha																																														
水	839	836																																														
小	97	115																																														
かんし	7	7																																														
大	15	25																																														
ば いし	17	17																																														
ス	55	98																																														
き うり	5	6																																														
ト ト	14	20																																														
いち	8	14																																														
ウス 口	24	24																																														
口	16	16																																														
き	10	16																																														
料作物	0	50																																														

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
<p>牧之原市榛原地区 水田農業ビジ (榛原町は 良町と平成17年 10 新設合併し牧之原市に)</p> <p>1.農業の 性</p> <p>2.水田農業の現状</p> <p>3.作物振興及び水田利用の 方向</p>	<p>牧之原市榛原地区 水田農業ビジ (策定年度 平成18年度変更)</p> <p>地域は、県の中、の に位し、の牧之原 地と大井川 口から御前崎へ く 岸 いに発 している に ま ている。</p> <p>農業は、基幹作物である を中 に水 、カ 、施設 、 、 ス及び 産な 多 に営ま ている。</p> <p>年、農産物の輸 自由化をは 、 カ の構造的な生産 費減 が農家経営を しており、基幹農業 事 の減 と高 化により耕作 地 農地が増 の 向にある。</p> <p>地区の農業は、 が中 で農産物 生産額に る割合は 4 割であり、経営体は +水田及び +カ の 合経営が主体と なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水 作付面積は 増 が、単収が減ったことにより収 量は減 し、平成17年の水 作付面積321ha、収 量1,700 である。 ・作付 種は、 費 の を し、カ、コカを中 として、と といった良食 種の作付が 位を ている。 ・全国・県を する スの産地であり、その前作となる水 の作付も スに合 せた 生 種の作付が中 である。 ・平成17年の地区水田利用状況は、面積において前年度と比較 すると水 作付面積、産地 くり 作物全般、一般作物、 耕地が増 しているが、り、工用 が減 している。 ・産地作り 作物は、大 、スイートコー 、コス ス、そば、 等である。 <ul style="list-style-type: none"> ・の生産量の 大 を自家 費する地域ではあるが、今後は良 食 種の 面積拡大のた 農 と連携を図り 進する。 ・振興作物である大 、スイートコー 、そばの を 進する とともに良 なものの生産に 、農 等と連携を図り 路を 拡大する。 ・水田の 効利用、農地の環境 化からコス スの景観 成作物 を振興する。 ・基幹作物である の生産を促進するた 、への を 進し、 面積の拡大を図る。 	<p>変更なし</p>	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																																	
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年9 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (牧之原市)	変更なし																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>569</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>いこん</td> <td>58</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>ば いし</td> <td>55</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>まのいも</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>155</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>ト ト</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>いち</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>口</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	569	605	いこん	58	62	ば いし	55	42	まのいも	0	3	ス	155	225	ト ト	5	6	いち	15	16	口	6	6	き	8	8		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																																		
	ha	ha																																		
水	569	605																																		
いこん	58	62																																		
ば いし	55	42																																		
まのいも	0	3																																		
ス	155	225																																		
ト ト	5	6																																		
いち	15	16																																		
口	6	6																																		
き	8	8																																		

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等
<p>吉田町地域水田農業ビジ</p> <p>1. 農業の性</p> <p>2. 水田農業の現状</p> <p>3. 作物振興及び水田利用の方向</p>	<p>吉田町 地域水田農業ビジ (策定年度 平成18年度変更)</p> <p>地域は、県の中に位置し、農用地は吉田田んぼを中心に水田が集中している。また、牧之原地域の東端地帯は小規模ながらもある。</p> <p>農業の経営規模は全般に小規模であるが、水資源にもまたたきがある。主要作物として水稲、大豆の割合が7割で、経営体も水稲＋大豆の合経営がほとんどである。大豆は安定産地として定着しており、一農家では大豆等の施設も導入している。また、農業生産額の構成比を静岡県と比較すると大豆が高い比率となっている。</p> <p>・平成17年までの3年間の平均を10a当りの収量で見ると、15年が483k、16年が543k、17年が526kといっても県平均を大きく上回っている。</p> <p>・平成16年の町の専業農家は254戸で、全帯8,635戸の2.9%でそのうち専業農家が48戸である。</p> <p>地域の水田農家は、大豆及び水田維持を目的として作付を行なう農業が大豆、50aの経営耕地面積の農家が全体の72%を占めている。</p> <p>・水稲は、一農家への出荷もあるが、ほとんどは地元で消費している。後作に大豆を合わせた栽培の生種が主であるが、今後は良食種の面積の拡大を図り、減農薬な安全・安心の取り組みを進め、水田農業経営の安定・発展に向けた取組みを強化する。</p> <p>・大豆の作付面積は、増加傾向にあるが、農家の「手作り」の大豆として市場で売っている。地産地消、安全安心による販路を拡大し、地域で生産した大豆の利用を進める。</p> <p>・スイートコーンは、地域の主要作物である。面積も増しており一農家の農産物販売、直売となっている。現在は、水稲＋大豆の作付が主体となっているが、農家の意向と大豆の配分によりスイートコーン＋大豆の作付を進め、生産調整と水田の生産所 向を図る。</p>	<p>変更なし</p>	

振興計画名/作物名等	現計画の基礎となった振興計画	左の現在の計画内容	変更内容及びその理由等																		
農業振興地域整備計画 基礎資料 (平成19年9 改)	農業振興地域整備計画基礎資料による生産目 農業振興地域整備計画基礎資料による作物別の生産目 は のとおりである。 (吉田町)	変更なし																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>現況(H19)</th> <th>目 (H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>275</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>135</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>き</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>料作物</td> <td>0</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	作物名	現況(H19)	目 (H27)		ha	ha	水	275	270	ス	135	200	き	1	1	料作物	0	36		
作物名	現況(H19)	目 (H27)																			
	ha	ha																			
水	275	270																			
ス	135	200																			
き	1	1																			
料作物	0	36																			

(3) 農産物等の動向

(ア) 作付面積

作物名		年度	現計画の直 5年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
水	面積(ha)	6,739	6,811	6,780	6,714	6,719	6,670	面積は 減しているものの、安定した作付が行 ている。	
	数	100	101	101	100	100	99		
小	面積(ha)	611	437	691	695	638	594	作の基幹作物として位 けら ており、 期間 安定して している。	
	数	100	72	113	114	104	97		
大	面積(ha)	227	330	241	211	196	156	年減 しているものの、 安定して してい る。	
	数	100	146	106	93	86	69		
かんし	面積(ha)	149	135	131	148	168	165	作付面積は増 向にある。	
	数	100	90	88	99	112	110		
ば いし	面積(ha)	166	168	160	158	173	172	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	101	96	95	104	103		
ト ト	面積(ha)	91	85	81	82	96	109	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	94	89	91	106	120		
き うり	面積(ha)	45	46	45	43	46	46	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	102	100	95	102	102		
いち	面積(ha)	134	145	130	126	136	135	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	108	97	94	101	100		
ス	面積(ha)	528	535	531	503	538	533	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	101	101	95	102	101		
いこん	面積(ha)	122	82	79	122	159	167	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	67	65	100	131	137		
	面積(ha)	56	58	53	54	58	57	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	104	95	96	104	102		
さといも	面積(ha)	105	102	105	104	109	107	安定した作付面積を維持している。	
	数	100	97	100	99	103	102		

作物名		年 度		現計画の直 5 年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
		面積(ha)	数							
にん ん	面積(ha)	74	73	69	71	78	78	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	99	93	96	106	106			
口	面積(ha)	195	174	168	171	217	245	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	89	86	88	111	126			
ウス 口	面積(ha)	257	246	239	241	288	273	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	96	93	94	112	106			
たま	面積(ha)	31	25	25	33	35	36	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	81	81	107	114	117			
ル ー	面積(ha)	44	48	49	39	42	41	年減 しているものの、 安定して してい る。		
	数	100	110	112	89	96	94			
	面積(ha)	53	49	48	55	58	56	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	92	90	103	109	105			
きく	面積(ha)	1,057	1,283	1,192	668	1,108	1,035	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	121	113	63	105	98			
トルコ ウ	面積(ha)	719	560	579	824	840	794	安定した作付面積を維持している。		
	数	100	78	80	115	117	110			

出) H14~H18年度静岡県農林水産統計年報

「水」「小」「大」: 合併後の袋井市は旧袋井市のみ、牧之原市は旧榛原町のみ、御前崎市は旧岡町のみである。
「その他の目」: 合併後の袋井市は旧浅町を含む、牧之原市は旧良町を含む、御前崎市は旧御前崎町を含むである。

(イ) 農産物価格等

作物名	年度	現計画の直 5年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
水	価格(円/k)	259	251	313	274	224	235	年、大きな価格変動はない。
	数	100	97	121	106	86	90	
小	価格(円/k)	132	150	132	125	126	126	価格は減しているものの、安定的にしている。
	数	100	114	100	95	96	96	
大	価格(円/k)	242	222	232	273	246	237	年、大きな価格変動はない。
	数	100	92	96	113	102	98	
かんし	価格(円/k)	137	177	130	91	128	158	収量の増減により価格は変動している。
	数	100	129	95	66	93	116	
ばいし	価格(円/k)	158	140	169	147	179	157	収量の増減により価格は変動している。
	数	100	89	107	93	113	99	
トト	価格(円/k)	334	334	372	316	316	333	年、大きな価格変動はない。
	数	100	100	111	95	95	99	
きうり	価格(円/k)	229	242	205	225	226	247	年、大きな価格変動はない。
	数	100	106	90	98	99	108	
いち	価格(円/k)	892	925	904	881	896	855	年、大きな価格変動はない。
	数	100	104	101	99	100	96	
ス	価格(円/k)	218	231	204	262	205	187	収量の増減により価格は変動している。
	数	100	106	94	120	94	86	
いこん	価格(円/k)	75	73	60	75	82	83	向にある。
	数	100	98	81	101	109	112	
	価格(円/k)	76	68	59	103	81	68	収量の増減により価格は変動している。
	数	100	90	78	136	106	90	
さといも	価格(円/k)	606	550	548	638	617	679	向にある。
	数	100	91	90	105	102	112	
にんん	価格(円/k)	147	97	203	132	131	174	収量の増減により価格は変動している。
	数	100	66	138	89	89	118	

作物名		年度		現計画の直 5年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
		価格(円/k)	数							
口	価格(円/k)	957	961	942	949	935	996	年、大きな価格変動はない。		
	数	100	100	98	99	98	104			
ウス口	価格(円/k)	278	282	264	269	261	313	年、大きな価格変動はない。		
	数	100	102	95	97	94	113			
たま	価格(円/k)	148	147	136	149	162	146	年、大きな価格変動はない。		
	数	100	100	92	101	109	99			
ル一	価格(円/k)	91	89	90	92	91	91	年、大きな価格変動はない。		
	数	100	98	99	101	101	101			
	価格(円/k)	294	354	293	245	296	281	収量の増減により価格は変動している。		
	数	100	120	100	83	101	96			
きく	価格(円/k)	51	45	45	50	46	68	収量の増減により価格は変動している。		
	数	100	89	89	98	91	133			
トルコウ	価格(円/k)	125	121	122	127	119	137	年、大きな価格変動はない。		
	数	100	96	98	101	95	110			
単価	基幹	単価(円/h)	1,691	1,657	1,737	1,712	1,807	1,544		
		数	100	98	103	101	107	91		
	補	単価(円/h)	1,619	1,657	1,678	1,634	1,584	1,544		
		数	100	102	104	101	98			

出) 作物単価:H14~H18年度 農業物価統計(静岡県)
 単価:H14~H18年度 経済効果 定参考資料(静岡県)

(ウ) 単位当たり収量

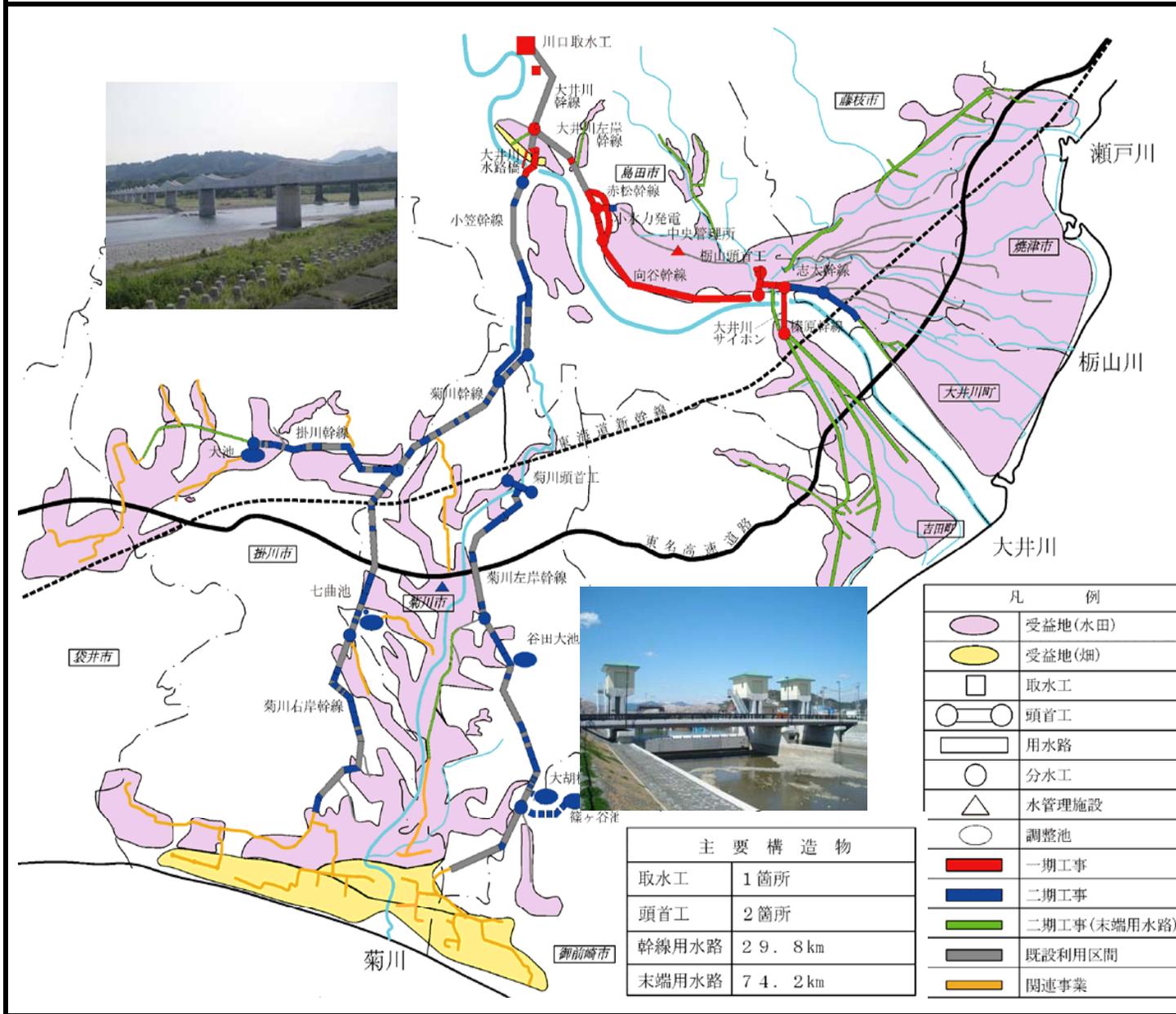
作物名		年度	現計画の直 5年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
水	単収(k /10a)	516	523	489	538	522	508	単収は ばいで している。	
	数	100	101	95	104	101	98		
小	単収(ha)	234	284	268	172	240	205	気 による変動は見ら るが、 年は ば いで している。	
	数	100	121	115	74	103	88		
大	単収(k /10a)	105	112	101	84	119	110	気 による変動は見ら るが、 年は ば いで している。	
	数	100	106	96	80	113	105		
かんし	単収(k /10a)	1,957	1,971	1,901	1,880	1,977	2,058	単収は ばいで している。	
	数	100	101	97	96	101	105		
ば いし	単収(k /10a)	1,401	1,376	1,424	1,436		1,366	単収は ばいで している。	
	数	100	98	102	103		98		
ト ト	単収(k /10a)	7,433	7,483	7,254	7,468	7,280	7,680	単収は ばいで している。	
	数	100	101	98	100	98	103		
き うり	単収(k /10a)	3,072	3,188	3,086	3,000	3,043	3,043	単収は ばいで している。	
	数	100	104	100	98	99	99		
いち	単収(k /10a)	3,661	3,690	3,590	3,684	3,789	3,553	単収は ばいで している。	
	数	100	101	98	101	103	97		
ス	単収(k /10a)	2,462	2,635	2,333	2,251	2,460	2,629	増 向にある。	
	数	100	107	95	91	100	107		
いこん	単収(k /10a)	5,325	5,546	5,106	5,002	5,550	5,420	増 向にある。	
	数	100	104	96	94	104	102		
	単収(k /10a)	2,810	2,664	2,956	2,678	2,689	3,063	増 向にある。	
	数	100	95	105	95	96	109		
さといも	単収(k /10a)	1,412	1,430	1,378	1,408	1,396	1,446	増 向にある。	
	数	100	101	98	100	99	102		
にん ん	単収(k /10a)	3,456	3,616	3,346	3,530	3,383	3,404	単収は ばいで している。	
	数	100	105	97	102	98	99		

作物名		年度	現計画の直 5年の平	H14	H15	H16	H17	H18	変化の状況及びその要因
		単収(k/10a)							
口	単収(k/10a)	2,992	2,778	2,998	3,074	3,148	2,964	単収は ばいで している。	
	数	100	93	100	103	105	99		
ウス口	単収(k/10a)	2,726	2,535	2,619	2,762	2,867	2,847	増 向にある。	
	数	100	93	96	101	105	104		
たま	単収(k/10a)	2,696	2,640	2,584	2,873	2,706	2,675	単収は ばいで している。	
	数	100	98	96	107	100	99		
ル一	単収(k/10a)	6,067	6,177	5,939	5,997	6,183	6,039	単収は ばいで している。	
	数	100	102	98	99	102	100		
	単収(k/10a)	2,349	2,333	2,267	2,150	2,233	2,760	増 向にある。	
	数	100	99	97	92	95	118		
きく	単収(k/10a)	35	34	35	35	33	36	単収は ばいで している。	
	数	100	98	101	101	95	104		
トルコウ	単収(k/10a)	36	37	34	35	35	38	増 向にある。	
	数	100	103	95	98	98	106		

出) H14~H18年度静岡県農林水産統計年報

「水」「小」「大」: 合併後の袋井市は旧袋井市のみ、牧之原市は旧榛原町のみ、御前崎市は旧岡町のみである。
「その他の目」: 合併後の袋井市は旧浅町を含む、牧之原市は旧良町を含む、御前崎市は旧御前崎町を含む平である。

事業概要図



凡 例	
	受益地(水田)
	受益地(畑)
	取水工
	頭首工
	用水路
	分水工
	水管理施設
	調整池
	一期工事
	二期工事
	二期工事(末端用水路)
	既設利用区間
	関連事業

主要 構 造 物	
取水工	1箇所
頭首工	2箇所
幹線用水路	29.8km
末端用水路	74.2km